

(児童発達支援) 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名 てらびあぼけっと千葉中央教室

公表日

2026年 2月 20日

利用児童数

2.5名

回収数

18名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	0	0	・個室と大部屋に分かれていてよいと思います。	・今後も必要に応じて、物の配置の見直しなどを行っていく予定です。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0	・今のところ手厚く見てもらえています。 ・丁寧に関わってもらえて、本人の居場所になっているように思います。 ・1対1で子どもと接してくれて助かっています。	・現在お時間帯によってキャンセル待ちをお願いすることがございますが、なるべく希望通りにご利用いただけるよう調整して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	0	・個室の扉にイラストと文字が掲示されていて、子どもでもわかりやすい工夫がされています。 ・教室外ではありますが、EVのドア開閉や早いのを子どもがキにしています。	・園生活や就学を見据えた環境設定を行いながら、必要な支援を個別で検討させていただいています。 ・EVIに関しては、ビル会社にご相談しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0	・セラピー後に、子どもが触るおもちゃを消毒したり、拭き掃除をしていたり、清潔な環境作りをしてくれています。	・毎日の終礼の際に、職員同士で環境面の気づきを共有することで、意識を高めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	・子どもの気持ちに寄り添い、柔軟な対応をしてくれています。 ・今一番本人にあった支援をしてくださり、感謝しております。	・本部の研修や、教室での話し合いの場を多く設け、専門的な支援が滞りなく行われるよう意識しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0	・保護者のニーズや子どもの状態をよく捉えて支援計画を作成してくださり、それに沿って支援を進めてくださっていると思います。	・てらびあぼけっと公式HPで、支援プログラムを公表させていただいております。適宜公表内容に立ち返りながら、支援を進めていければと思います。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	・いつも丁寧に作成していただいています。 ・要望を反映していただいています。	・資格職の職員が在籍しておりますので、複数の目でお子様の状況を確認しながら、ご家庭や通園先で過ごしやすいことを目指して計画を策定しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0	・わかりやすく詳細にまとめてあります。	・引き続き5領域を網羅しながら、保護者の方がよりイメージしやすい支援計画を作成していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	・子どもの状態を細やかに見てくださり、毎回のフィードバックで丁寧に伝えていただいています。なんのために今それを行っているのかを説明していただけるので、わかりやすく、見通しが持ちやすいです。	・セラピーに使用するファイルの1ページ目に計画を挟み、常に目に入る環境を整えています。計画と、支援内容に相違がないか、適宜確認することを徹底して参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	2	・季節を取り入れた活動やピアセラピーなど、活動プログラムのバリエーションが充実しています。	・お子様の様子に合わせて個別セラピーと小集団セラピーを組み合わせ、より成長を実感していただけるよう工夫していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	7	0	・特に希望していません。 ・希望すれば対応してもらえます。	・セラピーに集中することを第一としており、他のお子様と活動する機会は設けておりません。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	18	0	0	0	・契約のときに、子どもを預かってもらえてゆつくり話せてよかったです。	・安心してお子様を預けていただくことを第一に考えておりますので、気になる点等ございましたらいつでもお声がけいただけたらと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	・丁寧に対応していただきました。	・どのような見通しを持って支援を進めているかなど、よりイメージしやすいお伝えの仕方を心がけていけたらと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	0	0	0	・専門性のある座学で勉強になります。 ・また日時があえばぜひ参加したいです。	・今後も座談会を継続して行っていく予定です。より良い座談会を行えるよう、職員一同自己研鑽して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0	・毎回やり取りできるので、共通理解がしやすいです。 ・利用した後、その日の内容を丁寧に教えてもらえるので、子どもの小さな成長を感じることがができます。	・セラピーのご報告等、より知りたい点等、何かご希望がございましたらいつでもお声がけください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	・毎回お話を聞いていただけるのでありがたいです。 ・面談を申し込ませていただいています。	・相談支援の面談のご希望をいただくことが増え、ありがたく思っております。少しでもお力になれるよう努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	・家で悩んだことを聞いていただけて、助かっています。 ・必要に応じて面談を設定していただけるので相談しやすく助かっています。	・いつも色々なお話をお聞かせいただけることに感謝しております。今後も、どのようなご相談にも応じらえるよう

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1	0	2	・保護者向けのイベントを様々実施してくれていて、いつも楽しみにしています。 ・父の会に参加し、情報の共有ができたり、子育ての悩みを打ち明けられたりと、話ができてよかったです。	・保護者の方同士の交流会に、魅力を感じてもらえる工夫をしていけたらと思っています。 ・ごきょうだいにに向けたイベントもニーズがあれば検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0	・特に申し入れが必要だと思いう機会がありませんが、窓口については契約時に教えていただきました。	・引き続き周知を行い、保護者の方がご相談しやすい体制を整えていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0	・セラピーの報告を丁寧にさせていただけています。	・年度はじめ等のアンケートで、特に職員からの情報提供で知りたいことがあれば教えていただくようにしています。お子様に対しては、一人ひとりに合わせたコミュニケーション方法を検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	1	・事業所新聞を毎月楽しみにしています。	・事業所新聞等で教室の様子をわかりやすく発信していくと同時に、必要な情報の公開が滞りなく行われるよう都度確認していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	1		・定期的に個人情報取り扱いに関する研修を行うことで、職員の意識を高めていけたらと思っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	3	・ご説明いただいています。	・より様々な場面を想定した訓練を、継続して行っていくよう、機会を設けていけたらと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	1	・避難訓練で、今まで苦手だった防災頭巾をかぶれることができ、嬉しく思いました。 ・避難訓練を実施してくださって、子どもの様子を教えてもらえるので安心できます。	・日々訓練は行っていますが、より安全にお子様を守るように、防災に関する知識の習得を目指していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1	・細やかな怪我や体調の変化もご報告いただいています。	・安全計画を作成すると同時に、日々ヒヤリハットを出し合い、再発防止に努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	1	・些細な怪我等も、報告してくださっています。	・事故や怪我等を未然に防げるようにしていくと同時に、万が一の際には誠心誠意対応させていただきたく思っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1	0	0	・すっかり先生方に心を開いて甘えています。 ・入口で不安そうにすることがあるので、親が背中を押しています。	・母子分離の不安を抱えているお子様もいらっしゃる中で、スモールステップで進めながら、安心感を持って過ごせるよう支援することを心がけていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	1	・「てらばけ行きたい〜！」と子どもに言われます。 ・子どもは通所をとても楽しみにしています。成長を感じることができます。	・教室へのポジティブなイメージを土台に、たくさんのごことに自発的に挑戦していけるような環境を作っていきたいと考えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	・子どもの気持ちを汲み取り、支援しているおかげで、とても成長することができました。 ・出来るようになったことが増え、成長を感じます。 ・保護者もいつもサポートしていただいているの	・温かいお声をいただくことが多く、大変ありがたく思っております。保護者の方への感謝を忘れず、より良い事業所を目指してまいります。

(児童発達支援) 事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと千葉中央教室				
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1日の定員基準を守り運営しています。お子様の状態や必要に応じて個室、大部屋を活用しています。	適切な人数になるように予定を調整しているため、キャンセル待ちになってしまう場合がございます。お子様の安全を第一に考えながら調整させていただいています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	職員の配置人数と利用予約を照らし合わせて、適切な人数で運営できるようにシフトを調整しています。	職員の急な体調不良や人数が多いクールの入れ替え時間帯は、安全を優先するためお待たせしてしまう場合がございます。日々の会議等で議題に上げ、改善を目指しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	過ごしやすい環境を提供できるように職員会議にて検討、調整しています。適切な導線の確保しながら、安全にセラピーが行えるよう務めています。	安全を優先しつつ、実生活に近い環境や場面を設定できるようにしています。常に環境設定に関して職員間で意見を共有しあっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	各クール毎に掃除、消毒を行い感染対策を行っています。毎日のトイレ、洗面、床掃除などに加え定期的な大掃除を実施し、常に清潔な環境を提供できるように運営しています。	ほごりの溜まりやすい箇所や、大きな棚の後ろなどは、定期的な大掃除を行っていますが、より頻度を増やして、清潔に保つていけたらと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	状況に応じて個室と大部屋を使い分け対応しています。個室は異なった大きさで3部屋用意しており、お子様の体格、セラピーの内容を踏まえて使用しています。	常にお子様に合わせて環境設定になるよう、調整させていただきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日のミーティングや毎月の職員会議にてお子様の变化、職員同士での意見交換、教室目標の設定を立て、結果を振り返り改善に取り組んでいます。	職員のシフト上、全員参加での実施が難しい為、不参加だった職員が確認できるよう議事録を作成しています。回覧できているかサインで確認し、情報漏れがないようにしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年、保護者様にアンケートを提出いただいております。結果を職員間で共有し、ご意見を基に改善できるよう務めています。	アンケートによる収集は年1回のため、日頃のフィードバックや連絡帳の内容にて保護者様がご意見やご要望をお伝え出来るように工夫しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員会議や面談などを通じて、各職員が意見を伝えられるようにしています。朝礼、終礼ではその日気がついた内容や注意事項などを共有し、業務改善につなげています。	職員同士のコミュニケーションを密に取りながら、より良い療育を提供できるよう連携を図っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	定期的な内部監査や市の運営指導にて、評価をしていただいております。結果を基に業務改善出来るように務めています。	外部評価は限定的な機会になっているため、積極的に外部からの見学を受け入れ、風通しの良い施設を目指しております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	入社時研修や定期的なオンラインでの研修に参加する機会があり、職員のスキルアップが図れるようになっていきます。また、スーパーバイザーに療育内容を相談しやすい環境です。	療育を行いながら、研修の機会もきちんと確保できるよう、職員体制を調整しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	てらびあぼけっと本部のHPで支援プログラムを公表させていただいております。	見学・体験時に、支援プログラムの内容についてご説明させていただいておりますが、より多くの方に周知していただけるようお声がけしていけたらと思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	ご利用開始前と、モニタリング面談で、保護者様のニーズをお伺いし、課題の整理を行っています。また、実際のお子様の様子も分析させていただきながら、計画を作成しております。	その時々でのニーズやお子様の成長に合わせた内容の選定を引き続き実施し、丁寧でわかりやすい計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間でカンファレンスを実施し、意見交換や共有、今後の方向性の設定などを話し合い、お子様の強みを活かした支援を検討できるようにしています。	各職員の専門性を活かし、多角的な視点で支援できる環境を整えています。児童発達支援管理責任者のみではなく、全員で検討できる機会を設けていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画に基づき、支援が行えるように職員間で共有しています。療育に使用するファイルの1ページ目にファイリングすることで、目を通しやすい状況を作っています。	今後も、適宜プログラム内容を確認し、個別支援計画とずれないように調整していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	データシートや行動記録を記入し、お子様の経過を客観的に分析しております。職員間での情報共有や、カンファレンスなどの際に活用しています。	引き続き、客観的なデータに基づく療育を行っていけたらと思います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	お子様の課題を領域ごとに整理しながら、具体的に計画を作成するようにしています。	丁寧な支援計画を作成し、保護者様のニーズやお子様の状況に応じ各項目に最適な設定ができるようにしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員全体でプログラムの内容を検討しています。定期的にケース会議や、カンファレンスを行っています。	それぞれの資格や強みを活かし、意見を出し合えるよう引き続き話し合いの機会を設けていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	発達の手順に基づいて、プログラム内容を作成するようにしています。スモールステップで、着実に積み上げていけるように組み立てています。また、ピアセラピーを設け、お友達との活動の日も設定しております。	お子様によっては、似たようなプログラムが続くと、集中が切れやすくなっている場面も見られるため、お子様の意欲を引き出せるよう内容を調整していけたらと思います。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	1回のセラピーの中で個別、集団どちらも取り入れています。また、保護者様からの要望や必要性が高い場合に状況に合わせて併用しながら支援しています。	利用状況により、お友達との活動が組みにくいケースもございますので、ご希望の方には振替利用などをご相談させていただきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日の朝礼にてその日の重要事項を確認しています。特記事項は、担当表やホワイトボードに記載して間違いがないようにしています。	情報の伝達ミスや漏れが起きないよう、今後も打ち合わせの時間をしっかりと確保していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日の終礼にて、お子様ごとに振り返り、担当職員の気付きや全体としての動きなどを共有し議事録を作成し記録として全員が把握できるようにしています。	振り返り、気がついた点に関しては、都度職員間で検討を行い、改善に向けて実施できるように意識していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	データシート等を活用し、細かく正確な記録を取り、お子様の成長や支援に役立てるようにしています。	お子様のご利用が多い日などに、細かな記録まで手が回らなくなることがあるため、より良い導線や、効率の良い時間の使い方を常に検討するようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	全てのお子様に対して、6ヶ月に一度モニタリングを設け、計画更新をしております。また、保護者様と面談を行い、ご要望などを計画に反映させていただいています。	計画の進捗状況や保護者様のご意見などを参考に、適切な計画が作成できるように、引き続き意識してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が参加し、共有事項を全職員が確認できるように心がけています。	会議開催のの頻度としては多くないため、事業所内でのお子様の様子などを積極的に共有し、包括的な支援を行えるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	保護者様からのご要望や必要に応じて実施しています。事業所のみの対応では難しい場合には、移行先に療育内容やお子様の情報を共有できる体制を整えています。	継続的に連携が図れるように、積極的な情報共有や連絡などを行い、支援体制を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者の方のご要望に応じて、他機関とも連携を取るようしております。また、卒所の際には、移行先に療育内容やお子様の情報を共有できる体制を整えています。	より良い併行利用や、移行に向けて、今後も連携の機会をつくっていけたらと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	支援内容や実施経過を共有し、現状までの情報共有を行っています。必要に応じて共有書類の作成や連絡を実施しています。	移行先の職員の方が理解できるように、わかりやすい書類作成や情報漏れがないように、今後とも意識していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	研修や交流会の際には、なるべく参加するようにしています。	交流機会が少ないため、必要に応じて連携が図れるように検討していきます。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	事業内での支援に集中しているため、お子様同士での外部交流は設けていない状況です。	地域のお子様と交流する機会は設けていないため、必要性に応じて検討させていただきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回終了時のフィードバックにて担当の職員からお子様の様子を伝えさせていただいています。その他、座談会や面談時に園や自宅での様子なども情報共有いただいています。	教室運営上、フィードバックの時間が限られていることもあるため、別途面談などの機会を設けていただいております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	月2回以上の座談会の開催やSNS、事業所新聞による情報提供を行っています。また、ご希望に応じ、お子様との関わり方や役に立つ知識を動画やラジオで配信させていただいております。	座談会や動画の視聴は希望や参加に応じて実施しているため、未参加の方にも興味を持っていただけるよう工夫してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や面談時に直接ご説明させていただいております。重要事項は特に丁寧に伝えるようにしています。	利用していく中で再度質問をお受けすることもあるため、わかりやすく説明できるように心がけていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	お子様の最善の利益を考えて、療育内容がより良いものになるよう、計画を作成しております。	保護者の方のご意向を優先させていただくことが多いため、お子様のご意向もより尊重できるよう検討していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	計画作成後、直接保護者様に説明を行い、ご不明点やご意見がないか伺っています。ご要望に基づいた計画を作成できるように心がけています。	直接ご説明するようにしていますが、ご送迎などの関係でお会いできない方には、書面で行わせていただくケースもあります。なるべく対面で、目線に合わせて療育を進めていけたらと思います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的な面談や毎回のフィードバックなどの際に、ご家庭でのご様子をお伺いしています。複数の方から似たようなご相談を受けた際は、座談会の話題として取り上げています。	引き続き、保護者の方にとってご相談しやすい関係性を目指して努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	テーマに基づいた座談会や相談会を実施しています。また、実施中に保護者様同士がお悩みなどを共有できる機会を設けています。	より多くの方に興味を持っていただけるよう、ニーズに合わせた内容の選定、参加しやすい環境の提示を行ってまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	契約時に相談窓口や申し入れ体制についてご説明させていただいております。内容を細かく確認しながら迅速に対応できるように心がけています。	保護者様のご理解、ご協力のもと、大きな対応無く運営させていただいています。対応が必要な場合は真摯させていただきます。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	SNSや事業所新聞等で、教室の様子やイベントなどのご案内を配信しております。幅広く発信できるように内容や頻度などを検討しています。	より多くの方に見ていただけるよう、内容を工夫してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報保護に対する研修を実施しています。不特定多数の方の目につくところに、個人情報を記載しないように気をつけています。	安心して教室に通っていただけるよう、今後とも個人情報の取り扱いを徹底していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	お子様に伝わりやすかった声掛けや、教室で頑張っていることを具体的に伝えるようにしています。	教室で行ったことがご家庭で般化出来るよう、保護者の方とコミュニケーションを取っていただけたらと思っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	相談会や座談会など、お子様のご利用がない場合でも参加できるようなイベントを設定しています。	ご利用されている方以外の参加は少ないため、SNSなどで発信し、地域の保護者様からのご相談もお受けしていただけたらと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを策定し、事務所に保管しております。定期的に訓練を行っています。	避難訓練などを行う際には、各お子様の特性を踏まえながらアセスメントを実施し、練習が必要な点に関してはプログラムに組み込んで練習できるようにしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	災害時の役割分担の確認や、避難訓練を定期的に実施しています。年に2回以上、お子様と一緒に避難訓練を行っています。	イレギュラーな場面に不安を感じやすいお子様や、防災頭巾等の着用に抵抗のあるお子様もいらっしゃるため、避難訓練で苦手とされる点は支援ファイルに記載し、適宜練習していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に、健康面の特記事項がないか、確認させていただいております。特記事項のあるお子様は、必ず職員間で共有しています。	現在、てんかんのお子様はいらっしゃらないものの、今後対応できるよう研修などには参加していただけたらと思います。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	契約時にアレルギーの確認を行っています。また、変更や追加があった場合には個別ファイルに記載の上、職員間で共有できる状況にしています。	今後医師の指示書が必要なお子様がいらっしゃった場合は、丁寧に対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	定期的に、安全管理に関する研修を実施しています。毎日の終礼の中でも、危険箇所や導線上の課題がなかったか、確認するようにしています。	教室内での怪我、事故を未然に防げるよう、引き続き意識を高めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	契約の際に、非常時の連携方法をお伝えしております。	契約でのご説明以降、安全計画に関して話題に上がるタイミングがありませんのが現状です。適宜周知していけるよう心がけていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	終礼で当日のヒヤリハットを出し合い、対応の振り返りや予防策の検討を行っております。内容を書面で記録し、毎月の職員会議で振り返りを行っています。	引き続き、ヒヤリハットの起きやすい環境や場面を頭に入れて、安全第一にお子様をお預かりできたらと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	全職員が定期的に虐待防止研修を受けるようにしています。また、虐待のセルフチェックを行うようにしています。	職員の心身の状態を整えながら、虐待防止に努めていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束の3原則をもとに、保護者の方にご説明させていただいております。	身体拘束の必要性が減少できる環境設定や職員配置などを意識し、安全に運営できる教室づくりに努めてまいります。

(児童発達支援) 事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	てらびあぽけっと千葉中央教室		
○保護者評価実施期間	R7年12月20日 ～ R8年1月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	R7年12月30日 ～ R8年1月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンで、個別、小集団のどちらも行っていること。	お子様の状態を細かくデータに残し、お子様の成長を促すことができているか、適切な支援内容になっているかを適宜確認しています。個別で習得できたことが小集団の場面でも発揮できるよう環境設定を調整しながら練習を行っています。	本部スーパーバイザーの研修への参加や、職員の話し合いを積極的に行いながら、お子様の成長に合った療育内容になっているか、細かく確認していけたらと思います。
2	保護者の方に向けたサポートのバリエーションが多いこと。	療育内容のご報告、保護者向け勉強会、相談支援の面談などを積極的に行っています。	定期的に保護者の方にご要望のアンケートを取らせていただきながら、内容を検討しておりますので、引き続きご協力いただけますと幸いです。また、より質の高い情報提供が出来るよう職員一同自己研鑽に努めてまいります。
3	職員同士の情報共有の機会を多く設けていること。	毎日の朝礼・終礼の内容を適宜見直し、必要な確認や情報共有が滞りなく行えるようにしています。また、定期的にカンファレンスを行い、情報共有の機会を設けています。	シフト制のため、全職員が集まる機会が限定されてしまうため書面等で情報共有を行っています。が、なるべく対面でコミュニケーションが取れるように工夫してまいります。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていないこと。	1対1でのセラピーを行うために、教室での支援に集中させていただいております。	ご利用検討の際、送迎がないことで候補から外れるケースがあると伺っております。保護者の方にはご負担をおかけしますが、質の良いセラピーでお子様の成長を促していくことで、保護者の方から選んでいただける事業所を目指していきます。
2	駐車場がないこと。	お車で来所される方が多い中、ビル専用の駐車場がなく、教室向かいのタイムズをご利用いただいております。まれに、悪天候の日など、駐車場が埋まってしまうこともあったと伺います。	引き続き、条件を満たす方には、タイムズの駐車サービス券をいたします。また、お車でお越し頂く場合、ご希望の方にはビルの下までお子様をお迎えに伺います。
3			

公表

(保育所等訪問支援) 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	てらびあげっと千葉中央教室
------	---------------

公表日 2026 年 2 月 20 日

利用児童数 年 月 日 回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	0	0	1		・引き続き、教材を整えて、支援に集中できるよう努めてまいります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6	0	0	0		・相談室でゆっくりお話させていただいております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6	0	0	0	・開始時にご説明いただきました。 ・訪問支援を知りませんでした、丁寧に教えていただきました。	・事業の目的をイメージしていただきやすい説明の仕方を心がけていけたらと思います。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6	0	0	0	・保護者の要望も確認していただいています。	・保護者の方のご希望と、園の先生方のご都合に差があるケースもあるため、今後も相談の上、決定していけたらと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	6	0	0	0	・お忙しい中、先生方の都合をつけて行っていたいただいていると思います。	・今後も、なるべく様々な職員で訪問できるよう調整してまいります。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0	・療育の先生から見た専門的な視点をお伝えいただけています。	・引き続き児童発達支援での様子も踏まえて、専門的にお話できるよう努めていきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0	・丁寧にづくっていただいています。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6	0	0	0		・引き続き訪問先の先生方にもご意見をいただきながら、よりよい計画を作成していけたらと思います。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0	・児童発達支援とは別に、細かく作成いただきました。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1	・先生方のご都合も配慮しながら日程を組んでいただいています。	・先生方がお忙しい様子の日もございますので、なるべくご負担をおかけしない訪問調整を検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0	・作成後、説明していただきました。	・今後も具体的にお伝えしていけたらと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	0	0	0	・座談会に参加させていただいています。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0	・実際の園での様子を教えていただけて安心しました。	・今後も保護者の方にお子様の現状を具体的にイメージしていただけるようご説明を意識していけたらと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0	・訪問後に子どもの様子を丁寧に教えていただけるのありがたいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0	・子どもが保育園で過ごしやすくなることを考えてくれて心強いです。	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	・園の先生から、「療育先の先生とお話したい」と言われることもあります。	・より多くの先生方から信頼していただけるよう、適切な助言や支援を目指していけたらと思います。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6	0	0	0	・先生方と情報共有していただけてありがたいです。	・引き続き支援の目的や内容を共有しながら進めていきます。
非 常 時 等 の 対 応	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6	0	0	0	・訪問後に、様子を教えていただいています。	
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	0	0	2		

満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていますか。	6	0	0	0	・「〇〇先生が来てたよ」と教えてくれます。	・お子様によっては、訪問に来た職員に意識が向いてしまうこともあるので、お子様の状況に十分配慮しながら支援を行えたらと思います。
	28	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	・園の先生と連携してもらえるなんて、やらないともったいないなと思っています。 ・実際に行って見てもらえるのがありがたいです。	・引き続き、お子様、保護者様、園の先生方皆様にとって、満足いただける支援を行えるよう工夫してまいります。

公表

(保育所等訪問支援)訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
てらびあぼけっと千葉中央教室		2026 年 2 月 20 日				
		利用児童数 7 名 年 月 日 回収数 5				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	0	0	・個別療育で、どこまで理解できていて、どこでつまづいているのか教えてくださるのがありがたいです。	・現場の状況に合わせて、必要な情報をお伝えできるよう今後も努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	0	0	・どう声をかけているのかなど、具体的に教えてもらえます。	・園の先生方と協力してお子様の育ちを見守らせていただけるよう、誠心誠意対応させていただけたらと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5	0	0	・一緒に考えてくださったり、専門的なご意見をいただけたります。	・具体的に状況をお伺いし、一緒に状況を整理しながら、出来る手立てを考えさせていただけたらと思っています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	0	0	・療育と目線合わせができて、お子様への関わり方が統一できてよかったです。 ・療育で出来るようになったことを教えてもらえて、園でも試せています。	・引き続き、具体的な課題やお困りごとに対してアプローチしていけるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	0	0	・園以外でお子様がどのような顔を見せているのか教えてもらえるのがありがたいです。 ・園で困っている点をご相談できる先が増えて良いなと思いました。	・先生方にご協力いただきながら、円滑に訪問支援を行わせていただくことができております。引き続き、丁寧に支援を行っていかれたらと思います。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・お忙しい中実際に園に来てもらえることで、リアルな姿を見ていただけるのがありがたいです。 ・訪問支援に来ていただくまで、療育に通い始めたと聞いても、具体的に何をしているのかイメージしづかったため、お話を聞けてよかったです。				・私たちが実際に様子を見ることや、療育での様子をお伝えすることに意義を感じてくださる先生方が多く、より伝えるべき情報などを精査し、わかりやすくお話しいけたらと思っています。 ・また、園の先生方の相談先の一つになれるよう、職員間で意見共有を行ったり、研修等を積極的に受けたりしながら、よりスキルアップしていけるよう努めてまいります。		

公表

(保育所等訪問支援) 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
てらびあぼけっと千葉中央教室		令和 8 年 1 月 3 0 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 ・ 整 運 備 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	1	・訪問先に合わせて、必要なものを持参するようにしています。 ・不要なものを持ち込まないようにしています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・一度の訪問で2名以上の職員が伺えるように、シフトを調整しております。	・児童発達支援の利用人数が多いときは、職員一名でお伺いしており、関係機関連携の形を取っております。なるべく2名以上で伺えるよう、調整してまいります。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・訪問後に職員に報告を行い、改善点があれば次の訪問時に反映させるようにしています。	・児童発達支援の職員にも、園でのご様子等が詳しく伝わるように情報共有を行っていただきたいと思います。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・保護者様にアンケートを配布し、ご記入いただいております。 ・今年度から始まったため、まだそのような機会がありません。	・今回が初めてのアンケートになりますので、ご意見をいただいたことをもとに、職員で話し合い、改善すべき点を見つけていきます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・訪問に行った職員が報告資料をつくり、周知するようにしていると、他職員からの意見を確認しております。	・引き続き、職員からの意見を訪問支援に活かせるよう努めてまいります。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・本部SVからの意見を積極的にもらい、必要に応じて改善しております。 ・監査などの機会、業務の見直しを行っています。	・いつ監査等があっても対応できるよう、適切に運営していく意識をより高めていただきたいと思います。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・児童発達支援事業の研修と兼ねて、基礎知識に関する研修を定期的に受けております。	・引き続き、支援を優先しながら、研修の時間も確保できるよう運営していきます。 ・学んだことを実際に活かせるよう、適宜振り返りを行っていただきたいと思います。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	・ご本人のアセスメントを取りながら、児童発達支援と訪問支援で出来ることを整理して、適切に計画を作成できるようにしております。	・引き続き、お様が園生活で過ごしやすくなるように必要な支援を検討し、計画に反映してまいります。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・児童発達支援管理責任者が立てた計画を元にカンファレンスを行い、他職員の意見も反映しております。	・保育所等訪問支援の計画書を、児童発達支援の際にも確認できるように、周知していただきたいと思います。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	・原案を作成した後、訪問先の先生方にご説明しております。その際にいただいた意見も、計画に反映するようにしています。	・現場の先生方にお忙しい中お時間をつくっていただいておりますが、なかなかゆっくりご意向を伺えないケースもあるので、現場の先生のご負担なく進める方法も検討していきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・作成した計画を全職員に周知し、訪問の前に目を通すようにしています。	・引き続き、計画内容を職員が把握できるよう、共有していきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・お子様の行動を記録するシートを使用し、全体指示、周りのお子様の行動、当該児童の様子、その後の反応などに分けて細かく記録しています。	・引き続き、お子様の行動を客観的なデータに基づいて、細かく分析しながら、適切な行動を定着させる方法を検討していきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・具体的内容を参照しながら、具体的に一つ一つの目標を立てるようにしています。	・全職員に保育所等訪問支援ガイドラインの内容が周知されるよう、引き続き説明の機会を作っていきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・支援計画作成後には、必ず職員に共有しております。	・保育園等での様子は日々変化しやすいため、状況に応じて更新するなど、お様に合わせて進めていただきたいと思います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・支援開始前に、前回までの様子の共有、園の先生方のご意向、今回の訪問の目的を共有し、目線を合わせた上で、支援を開始できるようにしております。	・引き続き、多様な職種の職員でお子様の園での様子を把握し、より良い支援を行えるよう連携してまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・訪問後には、気づいたことなどを共有しあい、次の訪問支援や、児童発達支援で行えそうなことを検討しています。	・引き続き、振り返りの機会を設け、よりより支援につなげていただきたいと思います。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	・訪問前に、HP等で園の理念等を確認するようにしています。また、先生方の大切にされていることなどを把握できるよう、コミュニケーションを取るようにしています。	・園の先生方が日々工夫されている点や、園生活の流れを踏まえたうえで、適切な情報共有を行っていただけるよう努めてまいります。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	・毎回細かく記録を取り、お子様の様子を分析するようにしています。	・より複数の職員で、お子様の状態や、次の目標を分析・検討する機会を設けていきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	・訪問のたびに、保護者の方に特に支援してほしい点などを伺うようにしています。 ・担任の先生に、ご意向の変化がないか、確認するようにしています。	・保護者の方や、園の先生方とお話する時間をなるべく十分に確保できるよう調整してまいります。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	・必要に応じて担当者会議を開き、情報を共有するようにしています。 ・あまり会議が開催されていないように思います。	・実施している件数が少ないため、今後も必要に応じて開催を検討してまいります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・事業所や通園先以外とのつながりも必要なお子様は、連携先をお伝えするなど、情報提供を行っています。	・より地域資源を把握し、適切に繋いでいけるよう、情報収集を行っていただけたらと思います。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・年長さんは、園の先生方と個別の支援計画などの共有を行い、目線を合わせながら移行支援を行っています。	・小学校以降も訪問支援を実施できる旨を保護者の方に周知し、安心して移行できるようサポートさせていただけたらと思います。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	・本部SVの研修や、千葉市の外部研修に参加するようにしています。 ・必要に応じて相談員さんと情報共有を行っています。	・お子様のご利用が多いと、外部研修に参加する機会が限定されるため、人員配置などを工夫しながら、機会を捻出していけたらと思います。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	・あまり機会がなく、日程が合わないことが多いです。	・今後はなるべく参加できるよう調整し、地域とのつながりを強めていけたらと思います。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・支援後には、園でのご様子のご報告を行ったり、連絡帳のやり取りを行ったりしています。 ・お子様が園で抱えているお困りごとや必要な支援を共有しています。	・実際に目にされていない保護者の方にも、保育所等での様子によりイメージしていただけるようにご報告していけたらと思います。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・児童発達支援同様、座談会や交流会を実施しております。	・引き続き、保護者の方のニーズに合わせたイベントを企画していけたらと思います。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・ご利用開始の際に、ご説明をさせていただいております。	・児童発達支援と重複する部分もあり、簡略化してお伝えしているため、わかりづらい点がないか、適宜確認させていただけたらと思います。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	・資料を用いて適切にお伝えするようにしております。 ・初めて訪問支援を行う園の先生方には、より意図が伝わるよう丁寧にお伝えしております。	・訪問支援の趣旨に相違が生めないよう、細かくやりとりさせていただきながら支援を進めていけたらと思います。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・保護者の方のご意向をお伺いした上で計画を作成しております。 ・必要に応じて、お子様本人にも園生活についてお話を聞いております。	・お子様のご意見を反映できていないケースもあるため、最善の利益を優先する意識を忘れずに計画を作成してまいります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	・作成後に保護者の方にお声がけをし、説明させていただいております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・児童発達支援同様、園でのお困りごとがないか、適宜お伺いしております。	・今後も保護者の方とお話する機会を細かく設け、お悩み事を話しやすい体制を作っていけたらと思います。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0	・児童発達支援同様、保護者の方に向けたイベントを開催しております。	・引き続きニーズに合わせて保護者の方に向けた交流の場を開催できればと思います。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・保護者の方には相談・申し入れ窓口について適切にお伝えしております。	・今後相談や申し入れがあった際には、迅速に対応させていただきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・児童発達支援とまとめて、おたよりの発行、SNSの更新を行っております。	・保育所等訪問支援をより多くの保護者の方に知っていただけるようわかりやすい発信方法を検討してまいります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・訪問の前後等で、個人情報が漏れないよう気をつけております。	・行き帰りの公共交通機関などでも、個人情報が漏れないよう十分気をつけていけたらと思います。
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・園でどのような声掛けがお子様が過ごしやすそうか検討し、保護者の方にお伝えしております。	・園であったことなどを、お子様が伝えやすくなるよう必要な練習を行ったり、フォローをしたりしていけたらと思います。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	・訪問の際に、なるべくお時間をいただくようにしています。	・先生方が保育中だとお時間を取っていただくことが負担になってしまうケースもあるため、後日電話共有にするなど、対応方法を増やしていけたらと思います。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	・訪問の際に、なるべくお時間をいただくようにしています。	・時間の確保が課題になることが多いため、先生方のご負担に配慮しながら行えるよう検討してまいります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	・訪問後には、面談のお時間をいただき、ご報告するようにしています。	・ご利用のお時間帯によって、お子様の人数が多く、面談が組みづらい場合がございます。なるべく訪問後すぐに報告できるよう調整してまいります。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・訪問の際に個人情報を持ち出さないようにしています。	・引き続き個人情報の取扱いに十分注意してまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	・ABAや療育的な観点に基づいて、専門的なお話ができるよう務めています。	・引き続き、先生方が日々試行錯誤されていることや、園生活での環境設定などを十分考慮しながらお話できるよう務めてまいります。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・児童発達支援同様、周知、訓練を行っています。	・訓練等を行った際はご報告するようにしていますが、より多くの方に周知していただけるようわかりやすく発信させていただければと思います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・児童発達支援同様、安全計画を作成しております。	・お客様の安全を第一に、職員の研修等を行ってまいります。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・今のところ保育所等訪問支援でヒヤリハットが起こったケースはありませんが、今後も十分気をつけてまいります。	・訪問支援の中でもヒヤリハットが起こり得ることを職員に周知し、安全に行えるよう徹底して参ります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・児童発達支援同様、定期的に虐待防止の研修を行っております。	・引き続き虐待防止への意識を高めていけたらと思います。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・児童発達支援同様、身体拘束の原則を職員に周知しております。	・引き続き保護者の方に丁寧にお伝えし、安心してお任せいただけるよう務めていきます。